

総代会資料
平成24年4月28日
香川自治会

平成23年度 事業活動報告の概要

平成23年度（平成23年4月～24年3月）の事業活動は、平成23年4月27日に行われた「総代会」で承認された事業計画に沿って、取り組みを進めました。

定例会議は1, 8月を除き毎月開催し、町内会、各部会との意思の疎通を図り、各課題についても香川自治会全体の事業として実施しました。

各月の活動内容については別紙の資料で報告しますが、自治会と各町内会、各部会の事業活動概要は次の通りです。

1. 自治会

(1) 「東日本大震災」被災地への義援金募金について

昨年3月11日に発生した「東日本大震災」により被害を受けた方々を支援するため、香川自治会は「至急・回覧板」を回して、会員の皆様方に救援の募金を呼び掛けました。

その結果、3月末までに266万円を越える義援金が集まりました。

会員の皆様から寄せられた暖かい支援のお金を4月1日に、市を通して贈りました。

(2) 自治会館のリフォーム工事完了について

自治会館リフォーム工事は一昨年の第1次（6月～7月）、第2次（8月）工事に続いて、昨年5月から6月にかけて行った第3次リフォーム工事では、二階和室を多目的利用室に改装すると同時に、収納庫の設置、キッチン及びトイレの改装や空調機交換などを行い、三次に渡る自治会館リフォーム工事は完了しました。

工事の完了に合わせて、会議室備品（椅子・50脚、テーブル・10脚、収納用台車）を7月に補充購入して1～2階会議室へ再配置しました。

会館を利用する方々からは、「会館全体が明るくなって、部屋も大変使い易くなった・・・」と好評で、利用率も上がっています。

(3) 自主防災組織の充実について

懸案となっていた常設の「防災部会」が昨年4月に発足し、活動を始めました。

防災リーダーを中心とした8名体制で（各町内会から2名）、自治会、各町内会の防災倉庫点検及び統一したフォーマットによる備品一覧表の作成を手始めに、平成23年度の防災資機材購入品選考、配分等を行いました。

また、「自主防災規約」の点検、見直しの検討にも着手し、論議を進めています。

「防災部会」が発足し活動を始めた事により、近い将来には香川自治会独自による「防災訓練」の実現も期待されます。

(4) 自治会規約の一部改正について

平成22年12月に開かれた、臨時「総代会」で承認された「自治会費の改定、部会名称の変更と部会の新設」を主とする会則の一部改正について、昨年11月、規約改正検討委員会を立ち上げて検討を行いました。

自治会費額及び役員数の改正と条文の一部改正、併せて昨年7月に一部改正を行い施行した「会館使用規則」を「会館管理運営規則」と改めた事などの、検討結果が3月の定例役員会に報告されました。

総代会の承認を得た上で、今年4月から施行します。

(5) 香川まちづくり計画について

茅ヶ崎市の「香川駅周辺まちづくり計画」について自治会は「計画内容や進捗状況については、判り易く地域住民に説明してもらいたい・・・」と要請してきました。

昨年4月には、香川第2、3青少年広場が公園化され、6月から9月にかけて香川駅前通りの道路改修、舗装工事が行はれ、道路のセンターラインが無くなり車の速度制限も変わりました。

また、7月には新・駐輪場も完成、放置自転車対策として監視員のパトロールも始まりました。

昨年度は、防犯灯18灯が新設されましたが、防犯灯については昨年5月、市の安全対策課へ「毎年、計画的に既設の蛍光灯防犯灯をLED灯に取り替えては・・・」と云う、香川自治会の意向を説明し、行政へ支援要請を行いました。

この要請に対して市から「数量の確約は出来ないが、毎年、要望書を提出すれば、年度予算の残を考慮しながら対応する・・・」との回答がありました。

これを受けて、香川自治会としても独自のLED灯への計画取り替えに着手、昨年10月に（第1町内会・4灯、第2町内会・6灯、第3、4町内会・各5灯）計20灯をLED灯に取り替え、市へも20灯の取り替え要望書を提出しました。

(6) 「ふれあい基金」の活用について

平成23年度も前年同様、福祉施策の一環として「香川ふれあいまつり」で出店者の方々から戴いた寄付金の活用を検討、12月の定例役員会で昨年同様、「ボランティア・香川」と「香川社会福祉協議会」へ寄付金を贈る事を決定しました。

これを受けて、12月7日に自治会長より昨年と同額の援助金を上記二団体へ贈呈しました。

(7) 「賀詞交歓会」開催について

1月7日（土）午前10時より「平成24年 賀詞交歓会」を昨年同様、自治会館において立食方式で開催しました。

出席者は84名で、市長を始め学校、PTA、民生委員、子供会などの招待者と自治会、町内会役員との懇談、懇親の場となり相互理解が深まる、有意義な交歓会となりました。

2. 町内会

各町内会が町内役員会を開き、自治会定例役員会の内容を周知し理解を深めました。

自治会及び町内会の行事についても役員、会員の皆さんへ協力をお願いし、町内防犯パトロールや美化運動、芋煮会、竹トンボ作り、バザールなど各町内会独自の活動を行い、親睦を深めました。

また、香川地区体育大会や湘北地区防災訓練、市主催の「自転車とまれ」ステッカー大作戦や市民集会、推進協主催の道路清掃活動などにも積極的に参加し、近隣地域の方々との連帯も強めました。

3. 各 部 会

(1) 会計部会

年度初めに町内会計と各部会の会計担当者による合同会議で、前年度の反省点と会計ガイドの勉強会を行い、意見交換が出来ました。

自治会費の収入においては、昨年4月からの会費値上げ（月額50円）分は将来の自治会館建設資金として別枠で積立を始めました。

一方、集合住宅の建設で人口は増加しましたが自治会加入者が少なく、自治会費収入は思った様には伸びませんでした。

その他の収支については、ほぼ計画通りに推移し、防犯灯のLED灯の取り替え費や「会則」の印刷費などの支出にも対応できました。

今迄、自治会館内に各町内会や部会の保存資料などを収納する収納庫が無く、収納ロッカーの設置を要望されていましたが、今年2月に各町内会と部会の資料収納用ロッカーを本館2階に設置しました。

今年度も、会計部会の活動は順調に推移して来ましたが、これは会員の皆様と組長、地区会計の方々のご協力があったお蔭と感謝致しております。

(2) ふれあい部会 (前・文化厚生)

ふれあい部会では、例年通り三つの大きなイベント事業を推進しました。

第13回「香川ふれあいまつり」は、平成23年8月6日、7日の両日香川小学校校庭で電気不足に配慮して、初めて昼間に実施、二日間で延べ3,000人以上の方が参加されました。

当日ご寄附を頂いた義援金、13,571円は福島県双葉町役場に直接届けました。

秋には、「敬老のお祝い」として75歳以上の467名のかたに、500円の香川商興会「商品券」を贈呈しました。

また、11月19日、20日の両日、自治会館で第2回「香川自治会館まつり」を開催、昨年の1.6倍にあたる1,055名(内、子供379名)が、個人やサークルの力作を鑑賞しました。

(3) 広報部会

今年度も2ヶ月に1回、年間6回の「広報かがわ」を発行する事が出来ました。

昨年度は、大きい見出しや豊富な写真を掲載して、読み易い紙面作りを心がけましたが、今年度は5月号(第232号)より本文の文字を、明朝体より丸ゴシック体に変更して、柔らかく見やすくしました。

インターネットのホームページも充実させて、香川自治会の行事・日程や新着情報、トピックスなど写真入りで紹介しています。

また、「広報かがわ」の最新号や既刊号もカラー版にて掲載されていますので、皆様も是非一度、ホームページ「茅ヶ崎かがわ自治会」を入力してご覧下さい。

(4) 美化部会 (前・環境整備)

毎月の第2土曜日を活動日と決めて、香川の歴史的な遺産である「勘重郎堀跡地散策路」の草刈、樹木の剪定及び季節花の植栽を香川子ども会やボランティアなど、多くの会員のご協力を頂きながら実施しました。

また、今年度から自治会館玄関前花壇に春、秋用季節花の植栽を行い、来館者への環境美化に対する啓蒙活動も行いました。

平成23年度は、「勘重郎堀跡地散策路」整備（8回：内、子供会合同3回）、会館前庭花壇整備、植栽（7回）等の作業を中心に活動を行いましたが、現在の部会員8名体制では広範囲の「勘重郎堀跡地散策路」を整備するには十分では無く、新たな組織体制の構築が求められています。

(5) 環境部会（前・衛生）

環境部会は、毎年「年間の活動」として行う取り組みを決めて、活動を行っていますが、23年度の活動は以下の通りです。

- ① 環境指導員委嘱式（4月・）
- ② 海岸清掃参加（5月・7月 —— 年2回）
- ③ 文化会館にて、環境フェア参加
- ④ 湘北地区会議（環境指導員の啓蒙内容指導 —— 年2回）
- ⑤ 各町内会の「資源ごみ」出し方調査
- ⑥ 各町内会、ごみ集積場所の新設、分散、廃止、移動等の相談、助言

この他に、平成23年7月の新・駐輪場の完成により、従来行って来た駐輪場の除草作業活動が終了となり、これに替えて昨年は、玄瑠寺以北の勘重郎堀跡地の除草、清掃作業活動を部会として行いました。

(6) 体育部会（前・ふれあい）

平成23年度から部会名称が体育部会と変わりました。

5月に開催した「地引網大会」は、未曾有の東日本大震災、東電の福島原発事故発生により、部会では開催に苦慮しましたが例年通り行いました。

開催当日は肌寒い日でしたが、参加者は役員も含めて310名、地引網は2網とも大漁で、参加者に生シラスを食べてもらい釜揚げシラスやアジカマスをお土産に出来ました。

また、豚汁300食をサービスで振る舞った他、子供たちの宝探しや大人の輪投げなども好評で、参加者の皆さんに喜んで頂きました。

8月の「香川ふれあいまつり」は、東電の計画停電の影響で昼間に実施しました。

真夏、猛暑の中で初めて販売した“かき氷”が大好評で、二日間の販売予定量400杯を1日で完売、部会員は嬉しい悲鳴を上げながらも汗だく

の大奮闘でした。

11月の「自治会館まつり」は、朝から生憎と風雨が強くて人出が少なく、期待はずれでした。

体振主催の各スポーツ大会では香川代表選手を支援し、松風台、甘沼、みずき、など各地域の人々と親睦を図り交流を深める事が出来ました。

(7) 防犯部会（前・まちづくり）

平成23年度より防犯部会と名称が変わりましたが、部会活動は以下の通りです。

- ① 防犯部会・毎月第2土曜日（8月は休み）活動報告、連絡、討議など。
- ② 活動マニュアル作成・活動内容の顕在化と共有化を目的として作成。
（自治会長、総務部会長、防犯部会員、県警本部、茅ヶ崎警察署、市役所 に配布）
- ③ 茅ヶ崎市役所との連携・毎月、市長にボランティア隊の活動報告。
市役所主催の防犯ネットワーク会議参加。
- ④ 茅ヶ崎警察署との連携・合同パトロール参加要請。パトロール隊長
会議参加依頼。警察署からの犯罪情報をハウス内に掲示。警察署
主催の対策会議参加。
- ⑤ さくらハウスの管理・ハウス内に掲示板を設置し情報の掲示。パトロー
ル日誌の改訂。鶴が台交番からの犯罪情報をハウス内掲示板に転記。
ハウス内の消耗品補充。
- ⑥ 支 援・「ふれあいまつり」会場内整理。勘重郎堀跡地整備（美化部会
作業に参加 4～7月）
- ⑦ パトロール隊長会議の開催・6月及び2月。
- ⑧ 合同パトロールの実施・毎月15日。
- ⑨ 香川防犯パトロール隊の管理・パトロール日誌を毎月集計し、活動状況
表を作成しハウス内に掲示。ボランティア・パトロール加入者、辞退者
の名簿点検。
大勢の方々のご協力を頂き、防犯部会はこのような活動を行いました。

(8) 会館管理部会

新・管理体制になって2年目を迎え利用者の方々も大分慣れ、スムーズな管理が出来、大きなトラブルも無く運営する事が出来ました。

部会活動としては、平成22年度と同様、リニューアル工事に伴って、建物内の什器備品類や設備を一時移動して完成後、元へ戻す引っ越し作業や会館まつり等で使い易いように吊り下げレールの設置、防犯設備の増設

に伴う電話回線の切り替え、自治会ホームページ開設に伴う電話回線の契約変更などの他、建物外周の除草や入口の土間をブロック敷きにして、建物内に土を持ち込まれない様な作業も行いました。

また、茶器類を収納するダイニングボードを市のリサイクル品に応募して購入、古い備品と入れ替えも行いました。

会館利用者への説明会も実施して利用者からの声も聞き、会館の管理、運営の中で活用しました。

利用団体の登録も益々増える中、自治会館管理運営規則の再整備も行いましたので、一層利用し易い会館になったと思います。

会館のリニューアル等もあり、多忙を極めた期間でしたが部員一同は、会館の利用度を上げよう・・・を合言葉に活動が出来たと思っています。

(9) 防災部会

ここ数年、具体的な活動まで至らなかった「防災対策連絡会」から引継ぎ昨年4月、新たに「防災部会」として発足しました。

部会としては、出来るだけ早く香川自治会単独での「防災訓練」を実施する事を目標にし、その為の準備として先ず、「自治会自主防災規約」の全面的見直しに着手しました。

また、各町内会の防災備品倉庫の整理整頓と在庫確認を行い、統一した在庫リストを作成して、適正在庫数へ徐々に揃えて行く事にしました。

8月には「ふれあいまつり」支援を兼ねて自治会、各町内会保管の発電機の点検、2月には、自治会館内に保管の土嚢整理と整頓を行いました。

市からの助成金を活用して、簡易トイレや簡易無線機その他、防災資機材の手配なども行いましたが、初年度としては暗中模索の中で部会員が結束し、一定の活動が出来たと思います。

以 上